

2021年3月17日

関東学生ヨット連盟加盟校
各校の皆さんへ

関東学生ヨット連盟
理事長 大村達也

葉山での活動中の注意事項について

葉山で大会が行えるのは地元のご理解があってこそです。皆さんの葉山での生活においては、学連で取り決めた注意事項を守り、事故・トラブルのないようお願いします。

1. 葉山での生活について

葉山町での活動に際して、合宿所内での騒音等で周辺住民に迷惑をかけること、酒宴は午後10時までとすること、ガソリンの保管など火気管理の徹底等、学連で取り決めた注意点や森戸海岸使用規定・遵守事項を守って大学生として節度ある生活をお願いします。

2. 森戸海岸や葉山港に向かう導線の使い方について

備品運搬のためのリヤカーや艇の移動などで道路を使用する際には誘導員（見張り）を立てて交通整理をして欲しいと地元の方から要望がありました。交通渋滞や交通事故の原因にも繋がりますので各校十分注意して対応して下さい。

3. 葉山町漁業協同組合からの注意事項について

漁協の皆さんに迷惑をかけないようにお願いします。葉山港赤灯台と名島を結ぶ線の両側は釣船の帰港時の航路になっています。釣船の邪魔にならないようにして下さい。

また、この線の東側（森戸海岸側）ではマークを使用しての練習は禁止です。緊急時以外はレスキューも必ず徐行して下さい。

4. 活動中に発生した事故報告について

JSAF 普及指導委員会から事故報告の指導がありました。事故例を共有することで各団体のメンバーが、事故の起こる場面や要因を知り、事故に対する心構えや対策を講じることができる。事故の大小はあっても、そこには発生する原因が必ずあり、これを常に意識することで事故の再発を極小化したいとの指導です。

海上練習や日頃の生活でも事故のないようお願いしたいと思いますが、残念ながら発生してしまった事故は必ず事故報告をお願いしたい。報告先窓口は普及安全担当学生とします。

報告の対象となる事故は次の通りです。

①人身事故：JSAF 会員及び大会期間中の事故においては大会運営要員を含む

死亡、行方不明、後遺障害、救急車で搬送された場合、入院した場合、手術した場合、骨折、脱臼した場合、脳震盪、医療機関での対応が必要となった場合

②物損事故：大会運営艇、レスキュー艇、コーチボートの関連する事故

海上での接触・衝突事故、漁網等との接触による損傷事故など

③報告は、速報（第一報）を事故発生当日、詳細報告を事故発生から20日以内に行うこと

以上